



平成27年2月12日

各位

会社名 中央化学株式会社
 代表者名 代表取締役社長 社長執行役員 水野 和也
 (コード番号 7895)
 問合せ先 管理本部 管理部長 遠藤 勇一
 役職 氏名
 電話 048-540-2820

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成26年5月13日に公表しました業績予想を下記の通り修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 通期業績予想の修正

(1) 平成27年3月期通期連結業績予想数値の修正 (平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
					円 銭
前回予想 (A)	62,000	400	100	0	0.00
今回修正 (B)	62,000	△1,600	△1,200	△1,600	△79.41
増減額 (B-A)	0	△2,000	△1,300	△1,600	—
増減率	0	—	—	—	—
(ご参考) 前年同一期間 (平成25年4月1日 ～平成26年3月31日)	59,525	△3,298	△2,906	△4,256	△211.25

(2) 平成27年3月期通期個別業績予想数値の修正 (平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(単位：百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
				円 銭
前回予想 (A)	55,000	100	0	0.00
今回修正 (B)	53,500	△1,600	△1,900	△94.30
増減額 (B-A)	△1,500	△1,700	△1,900	—
増減率	△2.7	—	—	—
(ご参考) 前年同一期間 (平成25年4月1日 ～平成26年3月31日)	53,083	△3,106	△4,256	△211.25

2. 修正の理由

(1) 連結業績について

当食品包装容器業界と極めて関連性の深い一般消費財市場においては、消費税増税後も消費回復が鈍く、依然として一般消費者の節約志向が続いております。加えて一部ユーザーや包装資材問屋においては流通在庫圧縮の動きなども見られ、国内製品売上数量は期初の通期計画を若干下回ると予想されます。一方、中国国内売上は堅調に推移している上、為替相場の中国人民元高による円換算拡大効果もあり、通期の連結売上高は期初の計画をほぼ達成すると予想されます。

連結営業利益については、前年同一期間比で約 17 億円の損益改善となるものの、上述の通り国内における売上数量の未達や原材料価格の高騰などから、期初の予想に対し 20 億円程度下回る見通しです。

連結経常利益・連結当期純利益についても、上述の連結営業利益予想の減少 20 億円に、為替差益約 5 億円の発生などがあり、連結経常利益は期初の予想に対し 13 億円、連結当期純利益は期初の予想に対し 16 億円、下回る見通しです。

(2) 個別業績について

個別業績の修正理由は、連結業績予想とほぼ同様であります。

以 上